

令和5年度第2回市原市立中央図書館協議会 議事録

- 1 日 時 令和6年1月26日（金）午後2時00分～午後3時10分
- 2 場 所 市原市立中央図書館 2階 視聴覚ホール
- 3 出席者 **【委員】**
北森委員[会長]、榎本委員[会長職務代理]、藤谷委員、久我委員、
中沢委員、好野委員、近藤委員、駒委員、高橋委員、塩野谷委員、
畑島委員
千委員（リモート参加）

【事務局】
中央図書館 牧野館長、中村館長補佐
奉仕係 桑原係長、松本副主査
整理係 吉田係長、佐藤副主査
庶務係 松村係長、森副主査、高浦主事

【傍聴人】
なし
- 4 議題等
 - (1) 議事録署名人の指名
 - (2) 空調設備改修工事及び休館期間におけるサービス向上事業について
 - (3) その他
- 5 資料
 - 会議次第
 - 委員名簿
 - 席次表
 - 会議資料
 - 関係法令抜粋
 - 第3回更級日記千年紀文学賞受賞作品集
 - 第4回更級日記千年紀文学賞ちらし
- 6 会議経過 別紙のとおり

別紙 会議経過

発信者	会議の経過
<p>(司会) 中村 館長補佐</p>	<p>本日はお忙しいところ、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。 私は、司会を務めます中央図書館館長補佐の中村でございます。 よろしくお願いいたします。 それでは、はじめに、資料の確認をさせていただきます。 まず、先にお送りいたしました資料についてです。 全部で3種類ございます。会議次第、会議資料、関係法令抜粋です。 続きまして、本日、机上に配布いたしました資料についてです。 全部で2種類ございます。第3回更級日記千年紀文学賞受賞作品集、第4回更級日記千年紀文学賞ちらしです。以上をお配りさせていただいております。 本日の資料は以上でございます。資料の不足がございましたら、お申し出下さい。 よろしいでしょうか。 それでは、只今より、令和5年度第2回市原市立中央図書館協議会を開会いたします。 はじめに、館長の牧野よりご挨拶を申し上げます。</p>
<p>牧野館長</p>	<p>皆さま、こんにちは。中央図書館館長の牧野でございます。 本日は、季節柄寒いなか、また、公私共々お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 本市では令和5年5月1日に市制施行60周年を迎え、これまで様々な記念事業が開催されてきました。この1月には、「イチハラ、ハピネス。」をテーマに、エンジン01文化戦略会議が中心となって「エンジン01 in 市原」が、本日26日から3日間、開催されます。 このエンジン01では、文化や芸術、経済など各分野の第一線で活躍する有識者が本市に集結し、講師となって、様々なイベントや講座が開催されるもので、最終日の28日には、中央図書館において、南総里見八犬伝を題材とした講座が行われます。 さて、図書館事業でございますが、時期を同じくして、昨日から1月31日までの1週間、施設休館を行い、蔵書点検を実施しております。 この蔵書点検は、所蔵管理を適切に行い、資料の点検・確認や書架の整理などを行うもので、円滑に図書館を運営していく上で、非常に重要な事業の一つとなっております。 中央図書館といたしましては、蔵書を適切に管理したうえで、通常の図書の貸出・返却のみならず、レファレンスサービスの強化、各種講座の開催など、知の情報拠点として、様々な形で市民や地域が抱える課題解決の一助となるべく、様々な事業に取り組んでまいりたいと考えております。 普段から私どもも、より良い図書館を目指し、日々努力しておりますが、内部の者だけでは気づかない部分も多くございます。 本日は、委員の皆さま方に、忌憚のないご意見やご指導をいただき、今後の図書館運営に活かしてまいりたいと考えております。 以上、簡単ではございますが、協議会開催に際しての挨拶とさせていただきます。 どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>(司会) 中村 館長補佐</p>	<p>それでは、会議に入ります。 なお、市原市立中央図書館管理運営規則第16条第5項の規定により、過半数の委員の出席が会議の成立要件となっております。</p>

<p>(司会) 中村 館長補佐</p>	<p>本日は、現時点で委員12名全員が出席されておりますので、本会議が成立することをご報告いたします。 次に、ご報告いたします。 本協議会は会議を公開としておりますが、本日、傍聴者はおりませんので、このまま議事を進行させていただきます。 会議の議長につきましては、同条第4項の規定により、会長が務めることとなっておりますので、これより会議の進行を会長にお願いしたいと思っております。 よろしくお願いいたします。</p>
<p>(議長) 北森会長</p>	<p>それでは、次第の3 議題等に移らせていただきます。 まず議事録署名人の指名を行います。 議事録署名人については、協議会委員の名簿順に選任しているとのことです。前回は畑島委員でしたので、名簿の最初に戻り、今回は藤谷委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
<p>藤谷委員</p>	<p>お引き受けいたします。</p>
<p>(議長) 北森会長</p>	<p>それでは、藤谷委員お願いします。 次に、空調設備改修工事及び休館期間におけるサービス向上事業について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>牧野館長</p>	<p>初めに、お配りしました資料の関係法令抜粋につきましては、図書館協議会に関する規定を記載しておりますので、後ほどご確認ください。 それでは、次第に沿って、ご説明いたします。 会議資料と記載しております資料をご覧ください。スクリーンにも同じ資料を投影いたします。どちらでも見やすい方をご覧ください。 はじめに、1頁の下段をご覧ください。 空調設備改修工事及び休館期間におけるサービス向上事業について、1、2、3の番号順にご説明いたします。 それでは、1についてです。2頁の上段をご覧ください。 初めに、工事の概要ですが、中央図書館は、平成3年の施設竣工から30年以上経過しているため、施設設備につきましては経年劣化が進んでおります。 特に、空調設備につきましては、部品の製造が既に終了しているものがあり、故障しても対応できないことから、現在、会議室やスタッフルームなどでは修理ができず、空調の稼働を停止しております。今後さらに故障箇所が増えてまいりますと、施設運営に支障をきたす恐れがあるため、令和5年度から6年度にかけて空調の改修工事を行ってまいります。 次に、下段をご覧ください。 工事スケジュールにつきましては、令和5年9月に空調工事の契約を結んだ後、これまでの間、設備機器本体の製作と工事の準備作業期間としてきました。 来月には、図書館の利用者向け駐車場内に工事事務所を設置して、現地での工事着手に向けた準備を始めます。これに伴い、駐車場の利用台数が減少します。 さらに、3月からは、図書館の屋上にある設備機器本体の撤去を始めます。これにより、館内では冷暖房の使用を停止しますが、図書館は開館いたします。 6月から11月までの半年間は、空調を停止するなかでの利用が困難となるため、休館を予定しております。また、その間は、天井裏等にある空調配管の更新など、館</p>

<p>牧野館長</p>	<p>内での本格的な改修工事を実施していく予定としております。</p> <p>3頁の上段をご覧ください。</p> <p>施設利用者への周知につきましては、市の広報誌である広報いちはらの2月号に、工事事務所を設置することに伴い、駐車場の一部が利用できなくなること、3月から館内の空調を停止すること、また、6月から休館を予定していることを掲載する他、館内での掲示やホームページにも掲載して周知を図ります。</p> <p>また、その他工事のお知らせなどにつきましても、SNSを始めとした各種広報媒体を活用しまして、丁寧に周知していく予定としております。</p> <p>次に、下段の、2 休館期間における図書利用サービス低下の低減に向けた取組についてをご覧ください。</p> <p>半年間の長期の休館となるため、利用者へのサービス低下を補う取組が必要になると考えております。そこで、近隣施設である子ども未来館や、ネットワークで結ばれている公民館やコミュニティセンターの各図書室と連携しての取組を予定しております。</p> <p>休館期間中は、中央図書館に臨時窓口を開設しまして、予約本の貸出と返却などを行う予定です。</p> <p>子ども未来館との連携では、子ども未来館が、4月にオープンいたしますが、中央図書館が6月から休館に入るため、特に子どもに関わりのある事業を中心に、子ども未来館で継続して行えるよう、現在協議を進めています。</p> <p>主なものとしましては、雑誌等の閲覧や、おはなし会・上映会の開催など、これまで図書館で定着してきた事業を実施することで、サービスの継続性を確保したいと考えております。</p> <p>館外での読書推進活動としましては、出張おはなし会や、出前講座等のアウトリーチを積極的に実施していく予定としております。</p> <p>電子書籍コンテンツの充実では、非来館型のサービスとして、電子書籍はいつでもどこでも利用できるという特性から、サービス低下の低減対策として、休館期間中には、より一層、有効に利用していただけるようコンテンツの充実に努めてまいります。</p> <p>次に、4頁上段をご覧ください。</p> <p>3 休館期間における中央図書館サービス向上事業については、半年間の休館期間を利用しまして、子育て世代や障がい者、高齢者などあらゆる方が快適に利用できるよう、施設整備の充実を図りたいと考えております。</p> <p>まず、(1) 子育て世代を応援する施設機能の充実としまして、開館当初からオムツ交換や授乳のための専用スペースが館内にないため、設置に対する要望は度々寄せられていました。また、隣接する子ども未来館のオープンにより、子ども連れの家族が広く集まってくるエリアとなることから、子育て世代の方に気兼ねなく施設を利用してもらえよう休館期間中に整備をしたいと考えております。具体的には、館内にオムツ交換と授乳できる専用スペースの設置や、多目的トイレにベビーチェアの設置を計画しております。</p> <p>次に、(2) 視聴覚コーナーの移設による利便性向上と夜間開館での利用拡大につきましては、休館期間中に2階にあるCD、DVDの視聴覚資料を1階に移設することで、閲覧可能な図書館資料を1階に集約し、ワンフロアでサービスを展開することができるようになりたいと考えております。</p> <p>さらに、1階に移設した視聴覚資料と、児童室の図書も夜間開館時の利用対象資料に追加し、1階のフロアにある全ての資料が夜間開館時に利用可能とすることで、サービスの拡大を図りたいと考えております。</p> <p>下段の(3) 館内環境の整備につきましては、利用者からの要望の多いものや、図</p>
-------------	--

<p>牧野館長</p>	<p>書館サービス計画への掲載事業を中心に組み込んでまいりたいと思っております。</p> <p>具体的には、要望の多いトイレの洋式化や温水洗浄便座の設置と、検索機等の利用しやすい場所へのレイアウト変更や、視聴覚資料の移設後の空きスペースに閲覧席や学習室の設置、また新たに飲食コーナーの設置に取り組む予定としております。</p> <p>また、飲食コーナーのイメージとして、資料の下に写真を掲載しております。食事の提供はできませんが、持ち込みしたものを食べてもらう場所として設置を検討しております。</p> <p>なお、来年度の予算につきましては、3月議会で承認を得た後、確定となるため、予算を伴う取組についてはあくまでも予定として説明しておりますことをご了承ください。</p> <p>最後に、資料はございませんが、例年実施しております利用者アンケートにつきましてご報告いたします。</p> <p>令和5年度は、11月14日から12月13日まで実施いたしました。</p> <p>現在集計作業の最中で、速報値となりますが、総合満足度は前年度よりも、微増ながらも2.6ポイントの上昇となりました。具体的には、令和4年度の70.7%から令和5年度は73.3%となりました。</p> <p>今後も利用者が快適に利用できる施設を目指して取り組んでまいりたいと考えております。説明は以上です。</p>
<p>(議長) 北森会長</p>	<p>只今、事務局から空調設備改修工事及び休館期間におけるサービス向上事業についてを説明していただきましたが、ご質問等がございましたらお願いいたします。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>休館の期間について、資料では「6月～11月【見込】」となっておりますが、短くなる見込みもあるということでしょうか。</p>
<p>牧野館長</p>	<p>休館期間につきましては、工事に関する契約期間を踏まえたものとなっております。工事の終期は進捗状況によって前後する可能性があるものと考えておりますが、現在の工期が11月末までとなっておりますので、休館期間についても同様の期間としております。</p>
<p>(議長) 北森会長</p>	<p>期間についてのご質問でした。他にご質問ありますでしょうか。</p>
<p>好野委員</p>	<p>休館期間のサービス低下の低減に向けた取組について、中央図書館以外での読書推進活動を積極的にやっていきたいというお話でしたが、以前伺った際には、館外の活動として出張出前サービスというものがあります、と説明があり、その事業は学校側から図書館に要請がなければ出張できないとのことでした。休館にあたり館外での活動に積極的に取り組んでいく、ということは要請がなければ出張しない、という従来の形ではないアプローチの仕方をとるということでしょうか。</p>
<p>桑原 奉仕係長</p>	<p>学校関係者との子どもと読書に関する会議体としまして、子ども読書活動推進支援連絡会議というものがございます。そちらにつきまして、まだ予定ではあるのですが、休館中のサービス、連携について、構築を図ってまいりたいと考えております。ご指摘のとおり、積極的なサービスを見据えて、関係者の方のご協力を得られればと思っております。</p>

(議長) 北森会長	その他、休館中のことが話題になっていますが、いかがでしょうか。
畑島委員	私は市職員を退職後に公民館に勤務していたことがありますので、公民館やコミュニティセンターの図書室との連携についてお伺いいたします。資料の中では、具体的な取組の記載がありませんでしたので、休館中は具体的にどういった連携を考えているのかご説明いただければと思います。
桑原 奉仕係長	まず、各館の巡回を予定しております。巡回自体は現在も行っておりますが、休館中については、中央図書館の職員がさらに密に各館を回りまして、日頃のサービスの課題や相談事の把握につなげてまいります。また、中央図書館の職員が各読書施設に関して、時間をとって見学・視察することによって見えてくることもあるものと考えておりますので、まずはそちらを推進してまいります。 もう一点の連携としまして、こちらは調整段階ではございますが、休館となりますので、新刊の閲覧・貸出に関する連携を検討しております。本は発売されたときに買わなければいずれ買えなくなる、という性質がありますので、新刊図書の購入は継続いたします。その購入した新刊図書を可能な限り遅滞なく市民に提供するため、各図書室において中央図書館所蔵の本を閲覧・貸出できるよう連携を図っていきたいと考えており、現在相談中でございます。
畑島委員	せっかくの機会ですので、公民館・コミュニティセンターの受入体制がどこまで整備できるのか懸念事項もあるかと思いますが、できるだけ普段できないような、サービス向上につながる連携を検討いただいて、中央図書館が各読書施設の指導的役割を果たす、というところで努力をしていただければと思います。
(議長) 北森会長	ありがとうございます。その他いかがでしょうか。千委員、いかがでしょうか。
千委員	大丈夫です。特に質問はありません。休みの間でもしっかりサービスを続けるということで、了解しました。
(議長) 北森会長	ありがとうございます。その他どうでしょうか。
畑島委員	半年間の休館というのは、10人に一人、あるいは20人に一人かもしれませんが、既存の利用者の習慣が、来ない習慣に変わってしまうほど長い期間だと思います。そういった方の割合は大きくないかもしれませんが、全体的な数でみると、大きく利用者が減ってしまうのではないかと心配しています。私は公民館で仕事をしていましたので、利用者を一人でも増やそうという努力を毎日するのが当たり前でしたから、そういったなかで利用者が減らないように、再スタートに向かって何か動きが必要なのではないかと思っています。 そのPRによって、新たな利用者の開拓にもつながるのではないかと思いますので、再スタートに向けての周知活動については、資料に書かれていませんが、力を入れてやっていただければと思います。
(議長) 北森会長	ありがとうございました。期間が長いので、再スタートで利用者が減らないように

(議長) 北森会長	ということでしたが、現在事務局で考えていることがあれば、お答えいただければと思います。いかがでしょうか。
牧野館長	<p>今回の工事は、数年前から計画していたもので、現在は電算室においても空調機能がないため一年中扇風機を回しており、これ以上故障箇所が増えていくと開館も難しくなるような状況です。</p> <p>今回の工事の施工にあたっては、可能な限り開館の状態を維持するため、工事の実施時期についても検討を重ねてまいりました。既存の空調機器を撤去するため3月から空調機能がなくなりますが、6月以降の館内の気温を考慮しますと、空調機能が無い状態での開館は、5月までが限界と判断いたしました。また、空調の工事では、天井をはがす工程がありますので、職員も入ることが出来ない立入禁止エリアがあることから、我々も事務室を他の場所に移して執務を行うような状況です。</p> <p>このような状況ではありますが、半年間図書館が利用できなかった方には、空調の更新だけでは長期休館した効果を実感しづらいという点が懸念事項となっております。そこで、これまで利用者からの要望が多かったものや、図書館サービス計画におけるサービス向上に向けた取組について、この休館期間を良い機会ととらえ、リニューアルに近いレベルで実施したいということで取り組んでおります。それらが実施可能になりましたら、大々的にPRしたうえで、また利用していただきたいと考えております。</p> <p>その他、先ほど、隣接している子ども未来館で図書館の一部のサービスを継続していきたいと申し上げましたが、子ども未来館を所管する部門との協議は今後も続けまして、できるだけサービスが低下した部分は補っていきたいと考えています。</p>
(議長) 北森会長	ありがとうございます。畑島委員の意見を受けて、図書館も頑張っていくということでございます。他に何かございますでしょうか。
久我委員	<p>資料に「閲覧席の増設」とありますが、閲覧席というのは館内の本を持ってきて見る場所に限定されるのでしょうか、あるいは、自習が認められるのでしょうか。</p> <p>また、6月～11月の工事はやむを得ないと思うのですが、この期間には夏休みがありますので、夏休み期間中に図書館に通って宿題や調べ学習などをしていた小中高生に対して、どういう手当を考えているのでしょうか。</p>
牧野館長	<p>まず、閲覧席の増設について、先ほども説明の中で申し上げましたが、2階にある視聴覚資料を1階に下すことによって空きスペースができます。その空きスペースをどのように活用していくか、ということについて、閲覧席にするのか、学習室にするのかというのは、現在検討している最中になります。</p> <p>また、休館期間が夏休み期間に丁度あたることについて、小中高生の学習する場として現在活用していただいているところではありますが、館内の半分以上は工事箇所となっております。休館中は立入禁止エリアになっております。現在は、公園側のサブエントランスで臨時窓口の開設を検討しておりますが、臨時窓口においても中には入ってられないような場所での開設となります。そのため、令和6年の夏休み期間につきましては中央図書館の利用が難しく、大変申し訳ありませんが公民館・コミュニティセンターといった各読書施設をご利用いただくしか手立てがない状況です。</p>
(議長) 北森会長	ありがとうございました。他にありませんでしょうか。

好野委員	蔵書点検で休館している期間は、インターネットからリクエストをすれば本が公民館などに届けられると思うのですが、工事によって職員も入れなくなるということは、リクエストによる貸出もできなくなるのでしょうか。
桑原 奉仕係長	ご指摘のとおり入室・入館できない部分が多くなります。そこで、現在検討しているものとしまして、まずはインターネット上で利用者の方が予約・検索するシステムから、一度中央図書館の蔵書が全て見えなくなるようにいたします。その後、一部ではございますが、利用の多いものをピックアップしまして、予約や提供ができるように立入禁止エリアから退避させる方向で考えております。ピックアップしたものについては、インターネット上で一度消した状態からまた見えるように戻すという措置が取られる予定です。
好野委員	利用者側としては、インターネットで検索して出てきたものに関しては、借りられるという認識でよろしいでしょうか。
桑原 奉仕係長	はい、出てきたものについては、今まで通り予約をしていただければ、臨時窓口か公民館・コミュニティセンターの図書室で貸出が可能となります。もしかしたら少しお時間がかかるような状態になるかもしれませんが、そのように準備を進めております。
(議長) 北森会長	ありがとうございます。ある程度機能は制限されると思いますが、インターネットを利用して活用できる、ということです。その他いかがでしょうか。
藤谷委員	6か月間工事ということで、施工範囲として1階も2階もあるということですが、2か月ごとに工事エリアを移して施工箇所以外は開けるといような、全部閉めてしまうのではなくて、どこかが開いているような工事の進め方は難しいのでしょうか。
松村 庶務係長	<p>可能な限り工期を短縮するなど、市民の皆様にごできるだけ図書館を利用していただけられるように検討を進めてきたところではありますが、工事が始まり、空調機器が撤去されて空調が使用できない状態で、6月～8月の夏場を過ごすということについては、大変難しいものと考えております。</p> <p>また、建築部材を撤去する工程もありますので、利用者の皆様に安心・安全で図書館を使っていただくというのは難しいため、短期間に集中して施工することで早く工事を終え、市民の皆様にごサービスを提供していきたいと考えております。</p> <p>施工箇所以外を開館していくことに関しましては、順次フロアごとに施工する工事となっておりますが、空調の配管が館内の色々なところにつながっていることもあり、難しい状況となっております。</p>
(議長) 北森会長	<p>空調工事ということで長い期間ではありますし、利用者に迷惑をかけるということではあります。設備の老朽化ということで、突然止まってしまうのは大変なことですので、計画的にやっていただければいいというのはありがたいことだと思っております。</p> <p>空調工事以外のことでもかまいませんので、何かご意見がある方がいらっしゃいましたらお願いいたします。</p>
好野委員	絵本を子どもに読み聞かせるという活動をしておりまして、最近借りた本でびっくりする本があったので持ってきました。こちらの本です。「おたのしみじどうはんば

好野委員	いき」という本なのですが、表紙の真ん中に管理用のバーコードが貼られています。今まで借りた本は、大半が裏表紙の下の方にバーコードが貼られているのですが、このような状態ですと子どもたちに正面の絵を見せるときにどうなのでしょう。
牧野館長	ご指摘をいただきありがとうございます。こちらの本につきましては、中央図書館が持っている本ではなくて、市内の読書施設が所蔵している本になります。そちらの取扱いについては、こちらから指導させていただくということでご了承いただければと思います。
吉田 整理係長	補足説明をさせていただきます。各資料の装備については規定がありまして、バーコードの貼る位置も下から何cm、左から何cmという場所が決まっています。その中で、絵本は特に表紙にかかることが多く、最近では絵本以外にも字が多いものがありますので、バーコードの位置については、既定の場所で不都合がある場合は、ある程度許容範囲の中で調整するというようになっております。
	具体的には、左側に背を向けたときに手前になる面にバーコードを貼ることになっておりますので、表紙であってもそちらの面のどこか空いているところに、ということになります。装備済の本が納品された際に、他に移動できる場所がある場合には、当館で調節するというのもしているのですが、細かい指導が各読書施設に対してできていなかった部分もあるものと考えております。今後は、よりそういった調整をしながら進めていきたいと思っております。
(議長) 北森会長	ありがとうございます。中央図書館からご指導いただければと思います。その他、全般含めて、ということにかまいませんので、近藤委員いかがですか。
近藤委員	来年度、近いところに子ども未来館がオープンするというので、資料にもありましたけれども、やはり子どもは本が基本的に好きだと思いますので、色々と連携して、本が好きな子を一人でも多く増やして、多くの子どもたちに本を読んでもらえるように活動していただければと思います。
(議長) 北森会長	ありがとうございます。駒委員はいかがですか。
駒委員	私は本に触れる機会が大変多い環境で過ごしてきたのですが、漫画であっても本と様々な形で触れ合うということはとても大きいことだと思います。話を聞いていて、特に中央図書館の役割がとても大きいというのがよくわかりましたので、試行錯誤されているとは思いますが、より市民の方々にPRできるような取組を進めていただければと思います。
(議長) 北森会長	塩野谷委員、いかがですか。
塩野谷 委員	先ほど質問にもありました、閲覧席の増設について、学習コーナーの設置も検討しているとのことでしたが、例えば千葉市の駅の裏にある中央図書館では、広い勉強スペースがあり、私も受験勉強などで使わせてもらっていました。直接的には本と離れてしまうかもしれないのですが、図書館以上に集中して勉強できるスペースというのはあまりないのではないかと考えていまして、そういった場所が市原市にもあると、

塩野谷 委員	調べものもできるし、集中して勉強もできるというところになると思うので、そういったスペースがあることでもっと図書館の利用の向上につながるのかなと思いましたので、ぜひ検討いただきたいです。
(議長) 北森会長	中沢委員は、いかがですか。
中沢委員	<p>工事自体はやるときに一気にやらないと駄目だと思いますし、仕方のないことだと思います。やはり空調のない寒さ・暑さの中では、本当に良い施設であっても本を借りたいという気にもならないと思うので、致し方ないと思います。</p> <p>アンケート等の要望に応えるような形でリニューアルするようにもっていくということなので、できればこういうサービスになりました、というのがわかるような形で、休館した分を取り戻すように取り組んでいただければと思います。そして、子どもたちがここに来て、より良い本を借りて勉強が出来るような施設にしてほしいと思います。</p>
(議長) 北森会長	では最後に、千委員いかがでしょうか。
千委員	大丈夫です。
(議長) 北森会長	それでは、意見が概ね出尽くしたところですので、次に、次第のその他について、事務局からお願いします。
牧野館長	<p>様々のご意見をありがとうございました。</p> <p>続けて、中央図書館の主要事業であります、更級日記千年紀事業の今年度の状況をご報告いたします。</p> <p>お配りしました第3回更級日記千年紀文学賞受賞作品集は、今年度発行いたしました、第3回文学賞の受賞作品集となります。</p> <p>8頁をご覧ください。一般の部につきましては、応募作品96点の中から受賞された方の一覧表となります。選考委員長の椎名誠先生をはじめ、元NHKアナウンサーの加賀美幸子氏、小学館の編集者の竹下亜紀氏と市内作家の岸本静江氏の4人に選考していただきました。椎名誠先生からは、いずれも興味深い力作が揃ったと評価された作品です。</p> <p>次に76頁をご覧ください。こちらは小中学生の部の短歌の受賞作品の一覧になります。応募作品1,863首の中から受賞された作品です。こちらは市原歌人会に選考をいただきまして、選考委員長の市原歌人会の会長である市川一子先生からは、感性豊かな作品に出会うことができたと評価をいただいております。いずれも優れた作品ばかりですので、作品の内容につきましては、後ほどご覧ください。</p> <p>なお、文学賞の授賞式につきましては、令和5年11月18日に市民会館にて厳かに執り行いました。</p> <p>また、第4回文学賞につきましては、市制60周年記念として実施し、来月の2月1日から29日まで作品を募集してまいります。</p> <p>第3回については、海外からの応募もあつたくらいで、回を重ねるごとに、色々なところから応募いただいているような状況になっております。</p> <p>文学賞の他、更級日記千年紀事業としまして、3月に京極夏彦氏をお招きして、講</p>

牧野館長	演会を実施する予定で現在進めております。説明は以上です。
(議長) 北森会長	ありがとうございます。それでは、今説明がありました更級日記千年紀事業ですけれども、何かご質問等ございますでしょうか。また、全体を通して図書館に対するご意見等お持ちの方いらっしゃいましたら、お願いします。
好野委員	先ほどは6月に休館した後、子ども未来館と連携して事業をする予定とおっしゃっていましたが、4月に子ども未来が開館する際には、子ども未来館そのものとしてオープンするけれども、6月からは図書館の本を置かせてもらうスペースを作る、ということでしょうか。スペースには限りがあると思いますので、子ども未来館のどこをどのように使うのか、あるいはそういった点はこれから詰めるのか、についてお聞きしたいと思います。
牧野館長	子ども未来館の開館と当館の閉館で2か月ほどの時差が生じますが、例えば、おはなし会や上映会を空調がないなか中央図書館で実施していくのが良いのか、あるいは5月から子ども未来館でやった方が良いのかななどについては、現在話し合いを進めております。
好野委員	図書館は今使えないけど、ここではこういうことをやっています、ということについては、随時広報などでお知らせしていくということによろしいでしょうか。
牧野館長	はい、そのつもりでおります。 現在、子ども未来館については、指定管理者制度を導入する予定で事業者と協議をしているところであり、適宜こちらも協議に入っていく予定になっておりますので、進めている最中と考えていただければと思います。
(議長) 北森会長	おはなし会等は直接影響する事業かと思います。これから細かく擦り合わせが必要になってくると思いますので、よろしくお願いします。 その他、最後になりますが、何かご意見等ありますか。 それでは、意見も出尽くしたようです。 皆様、大変お疲れ様でした。これで、本日の議事がすべて終了いたしましたので、事務局にお返しいたします。 円滑な審議等へのご協力、ありがとうございました。
(司会) 中村 館長補佐	北森議長におかれましては、長時間に渡り、円滑な議事進行をいただきありがとうございました。 また、委員の皆様には、貴重なご意見をいただきありがとうございました。 賜りましたご意見等につきましては、今後の図書館運営に活かしていきたいと存じます。 北森会長と藤谷委員におかれましては、後日、事務局から議事録の確認について、連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。 以上で本日の協議会は、終了といたします。 なお、ご希望の委員の方には、図書館の中をご案内いたしますので、こちらの職員のところにお集まりください。 それでは改めまして、本日はありがとうございました。